

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-076
補助事業名 平成26年度 健康や命を守る医療の活動 補助事業
補助事業者名 公益財団法人日本精神衛生会

1 補助事業の概要

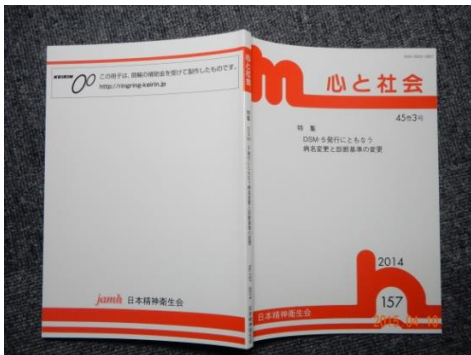
(1) 事業の目的

精神保健思想の啓発普及に資するため、広報誌「心と社会」の発行、フォーラムを開催し、精神保健に対する関心と理解を高め、もって精神障害者の医療及び福祉の改善と国民のこころの健康の保持向上に寄与する。

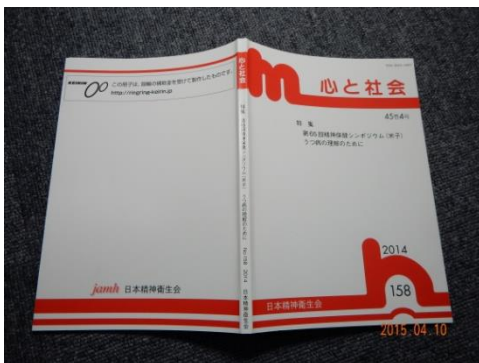
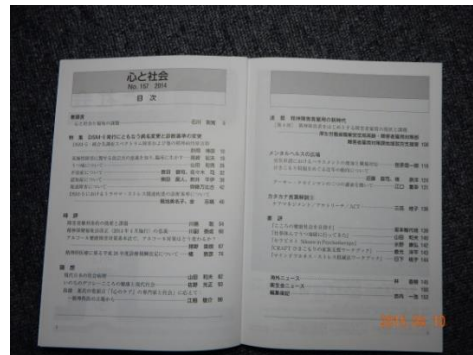
(2) 実施内容

① 広報誌の発行 (<http://www.jamh.gr.jp/pdf/kokorotoshakai157.pof>)

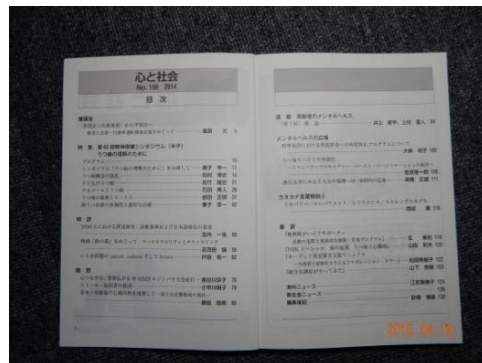
精神保健に関する重要課題の現状分析と提言を内容とした広報誌「心と社会」157号と158号を各600部追加で発行し全国の精神科クリニックなどに無料で配布し精神保健思想の啓発普及を図った。



心と社会 157号



心と社会 158号



②精神保健思想フォーラムの開催(<http://www.jamh.gr.jp/gyouji.html#mental>)

平成27年3月7日に東京有楽町の朝日ホールで、フォーラム「もっと知って下さい！私たちのこと～発達障害者のニーズと理解～」を参加費無料で開催した。当事者とその家族、精神保健医療従事者、福祉関係者など475名が参加した。



特別講演



シンポジウム

2 予想される事業実施効果

①広報誌の発行

精神保健医療・福祉に関する幅広い情報を、全国の精神保健関係者や一般市民に広報することで、当事者を含めた国民のこころの健康の保持・改善や精神保健福祉制度の充実などが促進される効果が期待できる。

157号の特集「DMS-5発行にともなう病名変更と診断基準の変更」では、当事者や家族さらには一般市民への病名変更の周知や偏見の解消が期待できる。

158号の特集「うつ病の理解のために」では、新型うつ病など近年のうつ病概念の混乱を整理し、正しい理解が促進することが予想される。

②精神保健フォーラム

発達障害は小学校低学年で問題化し、学校のメンタルヘルスで対応されてきたが、近年、子どもだけでなく大学生や社会人でも発達障害で悩んでいる人が少なくなく、職場や地域で看過できなくなっている。

大人の発達障害の研究・実践の第一人者による講演と、当事者の実体験や様々な立場の支援者による現状報告は、同様な問題を抱える当事者とその家族、支援者はもとより、周囲で対応に苦慮する人たちに、発達障害の理解を促進し発達障害者が自分らしく生きていくことのできる社会環境づくりの一助になることが予想される。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 広報誌の発行 (<http://www.jamh.gr.jp/pdf/kokorotoshakai157.pdf>)

「心と社会」157号 A5判160頁

「心と社会」158号 A5判136頁

② 精神保健フォーラムの開催 (<http://www.jamh.gr.jp/gyouji.html#mental>)

リーフレット A4判両面印刷三つ折り 10,000部

ポスター B3判カラー 300部

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本精神衛生会（ニホンセイシンエイセイカイ）

住 所： 〒162-0851

東京都新宿区弁天町91番地

代 表 者： 理事長 牛島定信（ウシジマサダノブ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 事務局長 伊藤龍彦（イトウタツヒコ）

電 話 番 号： 03-3269-6932

F A X： 03-3269-6932

E - m a i l： z-seisin@dc4.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.jamh.gr.jp/>